



日本初、グリーンエレクトロニクス工学科を開設

関西大学は4月、日本初となる「グリーンエレクトロニクス工学科」をシステム理工学部に新設した。

本学科は、持続可能な社会に貢献する「グリーン」と、ハードウェア・ソフトウェアの基盤となる、電子工技術「エレクトロニクス」を融合。半導体の設計、製造、応用を「環境」の視点も踏まえて体系的に学べる点が大きな特色だ。具体的には、スマートフォンやEV(電気自動車)などに搭載の半導体デバイスを中心に、ハード・ソフトの両面から、資源循環を意識した原料、低消費電力の集積回路設計、その回路を用いたエネルギー効率の高いAIアルゴリズムの開発などを研究する。

2026年度入学式を挙行 新入生歓迎の集い・歓迎行事も開催



▲入学式▶



◀新入生歓迎の集い



▲新入生歓迎マッチ

4月1日、2026年度関西大学入学式を千里山キャンパスにて挙行し、約7,300人の新入生が大学生活をスタートさせた。

入学式に先立ち3月29日、一人暮らしを始める新入生を対象に、学生同士の交流をサポートする「新入生歓迎の集い2026」を開催。今年は、人間健康学部で非常勤講師を務める落語家の桂三幸氏がゲストとして登壇。大阪の魅力や大阪人の気質、ツッコミの文化についてユーモアを交えて語り、会場は大きな笑いと拍手に包まれた。

さらに、新入生歓迎オリエンテーションでにぎわう4月3日には、「スポーツでつながろう！新入生歓迎マッチ」を開催し、本学体育会バレーボール部と同志社大学体育会バレーボール部が対戦。結果は1-1の引き分けとなったが、両チームの熱戦により会場は大いに盛り上がった。

関西大学第一高等学校に新校舎「黎明館」が誕生

4月3日、関西大学第一高等学校にて新校舎「黎明館」の竣工式および内覧会を開催し、学校関係者など約100人が出席した。



関大一高新校舎「黎明館」の外観

RC造・地上5階建ての新校舎は、館内中央に設けられた4層吹き抜けの共用空間が特徴。日常の交流や活動成果の発表など、多目的な活用が期待される。学年集会にも対応できる規模の講堂には、文化系クラブの活動に利用できるステージを備えるなど、生徒たちの多様な学びを支える新たな環境が整っている。



開放感あふれる館内中央の吹き抜け

おすすめ図書「新入生に贈る100冊」を発表



▼特設サイト



関西大学は、大手書店の丸善雄松堂、紀伊國屋書店、ならびに本学学長による「新入生に贈る100冊」(2026年版)を選定し、新入生約7,300人に案内。大学生生活のスタートにあわせて読書的重要性を呼びかけた。

今年で9年目を迎えるこの取り組みは、本学独自の読書啓発企画。選書された100冊は、高橋智幸学長の推薦図書20冊に加え、丸善雄松堂、紀伊國屋書店の推薦図書各40冊で構成されている。

関西大学体育会が大活躍！

野球部 6月8日から14日、第75回全日本大学野球選手権記念大会が明治神宮野球場および東京ドームで行われ、決勝で関西大学は慶應義塾大学に2-1で勝利。1972年大会以来54年ぶり3度目の優勝を果たした。また、最高殊勲選手賞には米沢友翔さん(人間健康学部4年次生)が選ばれた。



▲優勝し、胴上げされる小田監督



写真提供:野球部

陸上競技部 6月12日から14日、第110回日本陸上競技選手権大会が愛知県・パロマ瑞穂スタジアムで行われ、男子800mで萬野七樹さん(社会学部3年次生)が1分46秒45の好タイムで初優勝を飾り、アジア大会日本代表に内定した。関西大学が日本陸上競技選手権大会で優勝を飾るのは76年ぶりとなる。



写真提供:共同通信社

